

はらか

重点的に育成を
めざす資質・能力

- やり通す力(笑顔)
- 考動力(挑戦)
- 協働する力(思いやり)

凡事徹底そして飛躍の年へ

令和5年、新しい年がスタートしました。本年もよろしくお祈りします。冬休みが終わり、1月10日(火)に後期後半が始まりました。冬休み前に比べ、コロナ関連の欠席が一気に減少しましたが、まだまだ注意が必要です。感染対策に引き続き留意しながら、充実した後期後半となるよう全職員で頑張っていきます。

冬休み明け集会での校長講話

17日間の冬休みでしたが、皆さん楽しく過ごせましたか。何が一番楽しかったでしょうか。校長先生は、スポーツの番組をたくさん観たことが、楽しかったことです。冬休み中は、駅伝やサッカー、バレーボール、ラグビー、バスケットなどのスポーツの大会がたくさんありました。熊本県の高校生も活躍していましたね。テレビを見ている中で、心に残ったことがありました。それは、高校サッカーでベスト4に進出した大津高校サッカー部の選手の言葉です。

スタンドで応援していたその選手は「大津高校のサッカー部は試合が終わった後のゴミ拾いを頑張っています。大津高校では凡事徹底を目指していて、サッカー部もその凡事徹底を頑張っています。」と笑顔で話していました。凡事徹底の意味は「当たり前のことを人並み以上にすること」の意味です。大津高校のサッカー部は、この凡事徹底を大切にして、ゴミ拾いをはじめ、あいさつの徹底や礼儀正しい行動、学校生活や社会生活のルールをしっかり守ることなどを心がけているそうです。全国で活躍するチームは、サッカーの練習だけを一生懸命頑張っているだけでなく、日頃の生活習慣を大事にしていることがわかりますね。校長先生は腹赤小学校のみなさんも、当たり前のこともしっかりできるようにしてほしいと思っています。そのために、「腹赤っ子ならできる5つのABC」について何度も話をしてきました。当たり前にしなくてはいけないことは、たくさんありますが、まずは、5つのことが全員できるようにすることを目標にしています。そして、みんなができるようになると、腹赤小がもっと素晴らしい学校になると考えています。

さて、今年の干支はうさぎ年ですね。ところで、うさぎと聞いてどんなイメージを持ちますか。うさぎはぴょんぴょん跳びはねますね。そのことから、うさぎ年は、飛躍する年とも言われています。新しい年になり、「こんなことをがんばりたい、できるようになりたい。」といった目標は立てた人もいるかと思いますが、ぜひ、自分の目標に向かって大きくジャンプしてほしいと願っています。また、今日から始まる後期後半は今の学年の締めくくりと次の学年へ向けての準備をする大切な期間です。1年生は2年生へ向けての準備、6年生は中学校へ向けての準備になります。今まで習った勉強をしっかり復習して身に付けるとともに、学年が上がるという心構えを持ってほしいと思います。特に、6年生は、腹赤小の伝統を守り、仲間と共にリーダーとしての自覚を持って取り組んできたことに自信と誇りをもって卒業してほしいと思います。また、5年生は、6年生を引継ぎ、最高学年になるという自覚をもって学校生活を送ってください。まだまだ、コロナの感染拡大が続いています。そして、今年はインフルエンザの流行にも注意が必要です。しっかり感染対策を続け、健康な生活を心がけていきましょう。

トイレトペーパーホルダーの寄贈



昨年末に、腹赤小校区婦人会の石本啓子様、福本み子様、田上蘭子様、西林昭子様の4名が、「トイレトペーパーホルダー」(35個)を製作され、本校に寄贈してくださいました。高村養護教諭が30年ほど前に本校に勤務していた頃にもトイレトペーパーホルダーを製作され、寄贈して下さったそうです。長年、地域の方々から温かいご支援を賜っていることを改めて感じました。大切に使用させていただきます。